

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		NPO法人リアン LEGON Kids+		公表日		2025年3月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		定員に対して適切なスペースを確保している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		定められた人員配置を満たしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		不要な物をなくし、安全に過ごすことができるように配慮している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		整理整頓と清掃を日々徹底して行い、清潔感のある環境を目指している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		事業所内に5つの部屋があり、必要に応じて使い分けている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		朝礼・終礼・職員会議等が行われており、目標設定と振り返りを事業所全体で行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		頂いた意見は職員会議で話し合い、業務改善につなげている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員の意見は職員会議で話し合い、業務改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		社外の事業所から日々様々な意見を頂き業務改善につなげている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部研修・内部研修の機会を設け、職員の資質向上に努めている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムをHP等で公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者のニーズを契約時やモニタリング時に細かくアセスメントを行い、職員間で支援会議を行った後に支援計画の作成にあたっている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		保護者のニーズを契約時やモニタリング時に細かくアセスメントを行い、職員間で支援会議を行った後に支援計画の作成にあたっている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		すべての支援計画に全職員が目を通し、支援計画に沿った支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントは期間に応じて行い、インフォーマルなアセスメントは日々職員間で話し合いながら子供の見立ての共有を行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		支援計画にはすべての項目が掲載されており、必要に応じて支援を行っている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動内容に応じて有識者や専門職を踏まえたチームで立案を行っている		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	月ごと、季節ごとに応じて様々なプログラムを行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	子どもたちと日々話し合いながら、目的に応じて集団活動の時間と個別の時間を組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	毎朝、朝礼と打ち合わせを行い、その日行われる支援について計画と共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	支援終了後には終礼と打ち合わせを行い、その日行われた支援の反省と振り返り、共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	毎日支援内容を記録し、振り返ることで支援内容の向上につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	定めた期間内にモニタリングを行い、保護者と、ニーズ等のすり合わせを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	4つの基本活動について職員全体が意識を持ち、複数組み合わせることで、一辺倒な支援が行われないようにしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	常に活動内容は選択制にしており、児童が興味を持った活動にいつでも挑戦できる環境づくりを行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	ケース会議等には支援計画作成者か、児童の支援担当が必ず参加し、児童の様子をより詳しく共有することに努めている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	地域の医療委機関と提携しており、必要に応じて連携を図ることが可能である	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	必要に応じて学校との情報共有を行いながら利用予定表の作成に努めている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	保護者の了承を得たうえで、児童発達支援事業所との情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		現在移行児童がないため行っていないが、必要に応じて行う予定である
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		今後の実施を検討している
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		保護者の意向を踏まえた上で実施を検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		今後の実施を検討している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	モニタリング・家族支援（面談）を実施し、日々児童の情報共有に努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		現在交流会が、年に1回と実施頻度が少ないため、ペアレントトレーニングの機会等を設ける予定である
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	見学・契約・モニタリング時に説明を随時行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	定期的保護者へにニーズの聞き取りを行い、児童には日々直接聞き取りを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	支援計画をもとに今後の支援について保護者に説明を行っている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		専門職員と管理者を中心に事業所内相談支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		年に1回事業所内でイベントを行い、保護者や児童の兄弟が参加できる交流会を実施している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情が寄せられた際は職員間で共有し、再発防止策を保護者に提案するなど、迅速に対応をしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSを使用し、日頃の活動内容やその様子について発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いについて研修を行い、全職員が意識をもって個人情報を扱うことに努めている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		絵カードの使用や拡大した契約書類等を常備している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		個人情報の観点から行っていないが、保護者の要望に応じて実施を検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		年2回の避難訓練を計画・実施し、反省点を職員間でまとめ、SNSで発信している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを年に1回見直し、それに合わせた訓練、研修を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時とモニタリング時等定期的に保護者に聞き取りを行い、非常事態に備えている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時とモニタリング時等、定期的に保護者に聞き取りを行い、医療機関や担当医、アレルギー対応についてお伺いしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を年に1回見直し、それに合わせた訓練、研修を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		8	日頃の避難訓練の様子や内容などをSNSで発信している	より分かりやすく緊急時対応について周知することができるように努める
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットは随時共有し、対応に努めると共に、職員会議にてヒヤリハットについて話し合う機会を設けている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止研修を定期的で開催している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束についての研修を定期的で開催し、保護者へは身体拘束適正化についての周知を徹底している		